

## 白井塚古墳の発掘調査について

調査期間	令和4年5月10日から7月半ば頃まで（予定）
調査主体	狛江市教育委員会（教育部社会教育課）
調査目的	（仮称）白井塚古墳公園整備工事に先立つ事前調査
調査概要	発見された遺構 古墳主体部（ <small>れきかく</small> 礫槨）3基など 出土遺物 鉄製直刀 <small>ちよくとう</small> 、鉄鍬 <small>てつく</small> など

発見された古墳主体部は、れきかく礫槨と呼ばれる構造で、遺体を納めた木棺もつかんを河原石を敷き詰めたれきしょう礫床の上に安置し、その周りを河原石で取り囲んだもの。その中の1基からは鉄製の直刀ちよくとうなどが出土。

今回発見された礫槨は、狛江古墳群の特徴を最もよく示すものであるとともに、多摩川流域のみならず南関東全体で見ても、残り具合の良さを含めて極めて希少な事例。

※調査は7月半ばまで予定。6月18日（土）には市民向けの現地見学会を開催する予定。



白井塚古墳で発見された主体部（埋葬施設）である礫槨の状況